

ICT端末で自ら情報を収集し、 仲間と共有しながら課題解決を目指す学習

第5学年

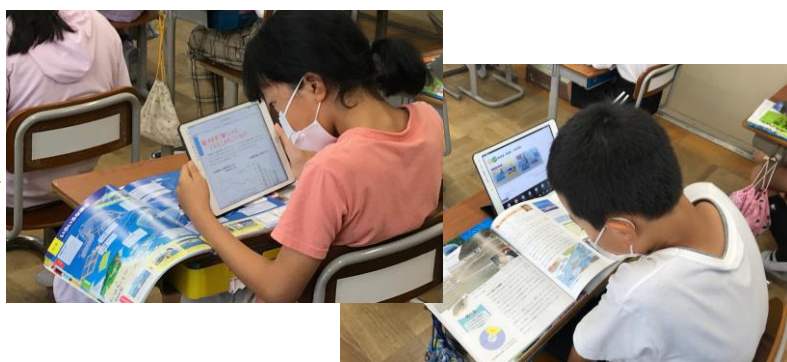
水産業のさかんな地域

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 学習課題を解決するために、自分の目的に合わせた方法で追究することができました。
- 仲間と情報を共有し、具体的に資料を提示しながら根拠立てて説明することができました。
- 動画を活用して、社会的事象の見方・考え方を働かせて、学びを深めることができました。

ICT端末等を用いて、自分で追究資料を選択した読み取り

教科書・資料集の資料等に加え、教師が学習支援ソフトを通じて送付した URL の Web サイトから児童が選択して追究する。



- ・ 本時の学習内容に関連する有 Web サイトをあらかじめ教師が調べておき、児童が追究資料を選択できるようにする。

教師の指導のポイント

- 教師が課題追究の方法等を指定することなく、児童自らが自身の見通しに基づき、追究できるようにする。
- ICT端末等を用いて、資料や読み取った事実を多様にするに加え、それに基づく個の考えをやり取りできるようにする。

資料等から調査した内容を仲間と共有して説明



学習支援ソフトを通じて、自ら調べた内容を各自の ICT 端末に送信し、事実を示して説明する。

- ・ Web サイトの画面等を仲間に提示し、事実を確認し合いながら、論理的な思考に基づく話し合いができるようにする。

教師の指導のポイント

- ICT 端末上で書き込みを加えながら説明することで、相手意識や目的意識を大切に説明を行えるようにする。

本時の学びを振り返り、見方・考え方を働かせるために学習動画を活用



指導者用デジタル教科書や NHK for school の学習動画を視聴し、水産業に関わる人々の工夫や努力を実感的に捉える。

- ・ 話し合った内容を学習動画で検証するとともに、水産業に関わる人々の営みを詳細に捉えることで、その働きの意味について考える。

教師の指導のポイント

- 学習動画を途中で止めて、「どうしてこの作業をするのかな？」などと、人々の営みの意味を考える問いを生むなど、動画の使用場面や使用方法を工夫する。